

プレスリリース | PRESS RELEASES

2022.1.1 -2022.12.31

January 1, 2022 - December 31, 2022

和文

発表日	主導機関	所内発表者	タイトル
1.6	東京大学	秋澤 紀克 助教 / 松崎 賢史 助教 / 田村 千織 技術専門職員	東北沖海底火山は硬い堆積物を身にまとう ～地震発生時のプレート境界すべり抑制に関する新たな知見～
1.14	北海道大学	小川 浩史 教授	深海に滞留する燃焼由来の溶存物質 ～太平洋深海における溶存黒色炭素の除去プロセスを発見～
1.17	東京大学	田中 健太郎 特任研究員 / 白井 厚太郎 准教授	貝類の産地を判別する新しい手法を開発
1.24	北海道大学	阿部 彩子 教授	西暦 3000 年までの南極氷床の変動を予測 ～氷床の崩壊を防ぐための効果的な気候変動対策が重要～
1.28	沖縄美ら島財団	小川 展弘 技術専門職員	「授乳」をするサメ ホホジロザメに新発見!! ミクロな観察からミルク分泌の仕組みが明らかに!
2.3	東北大学	横山 祐典 教授	三陸海岸北部において 1611 年慶長奥州地震津波の物的証拠を発見 – 日本海溝沿いで発生する巨大津波の頻度に関する新たな知見 –
2.4	海洋研究開発機構	伊藤 進一 教授	魚の眼球に記録された稚魚期からの生活史を解読する方法を開発
2.10	東京農工大学	佐藤 克文 教授 / 木下 千尋 特任研究員	新型コロナウイルス感染拡大に由来するとみられるプラスチックゴミをウミガメが摂食していることを確認しました
2.24	国立環境研究所	渡部 雅浩 教授	21 世紀後半までの降水量変化予測の不確実性を低減することに初めて成功しました
2.25	海洋研究開発機構	渡部 雅浩 教授	温室効果ガス排出量を削減したシナリオにおいても北極温暖化増幅への考慮が必要
2.28	理化学研究所	吉澤 晋 准教授	光でイオンを輸送する膜タンパク質の巧妙な仕組み – XFEL が捉えた光駆動型イオンポンプロドプシンの構造変化 –
3.3	北海道大学	伊藤 進一 教授	黒潮と親潮をつなぐ日本東方の海水輸送過程を可視化
4.1	北海道大学	大石 龍太 特任研究員 / 阿部 彩子 教授	過去 150 万年間の大気中二酸化炭素濃度を解明
4.1	理化学研究所	高木 互 助教	甲状腺の初期進化 – ヤツメウナギ内柱の祖先性を覆す新しい進化シナリオ –
4.4	神戸大学	沖野 郷子 教授	南部マリアナトラフの上部マントル比抵抗構造を解明
4.14	東京大学 国際ミュオグラフィ連携研究機構	–	世界初、ミュオグラフィによる気象津波の観測
4.22	東京大学	川崎 高雄 特任研究員 / 松村 義正 助教 / 羽角 博康 教授	粒子追跡手法から明らかになった北太平洋深層水の行方
4.26	東京大学	吉川 晟弘 特任研究員	ヤドカリの“宿”を作る新種のイソギンチャク!? – 深海の驚くべき共生関係
5.12	名古屋大学	佐藤 克文 教授	巨大翼竜はほとんど飛ばなかった ～絶滅巨大飛行生物と現生鳥類のソアリング能力の比較～
5.20	東京大学	横山 祐典 教授 / 宮入 陽介 特任研究員 / 阿瀬 貴博 技術専門職員	大気のカリウムが引き起こした過去の南極氷床融解
6.15	海洋研究開発機構	横山 祐典 教授	プレート境界の断層湖で湧出する地下深部ガスの分子種特定と物質循環への寄与を解明 – 厳冬の湖氷に出現するビッグホールの謎を明らかに –
6.17	東京大学	吉澤 晋 准教授	「微生物ダークマター」を解き明かす – 世界最大の海洋微生物ゲノムカタログ –
6.21	東京大学	伊藤 進一 教授	成長 – 回遊モデルによるマサバ初期成長への環境影響の解明
7.1	東京大学	横山 祐典 教授 / 平林 頌子 講師 / 阿瀬 貴博 技術専門職員 / 宮入 陽介 特任研究員	人新世の開始時期を決定する正確なマーカーを提唱 – 第五福竜丸事件の核実験の痕跡を 別府湾堆積物と石垣島サンゴの極微量同位体から発見 –
7.2	海洋研究開発機構	山本 彬友 特任研究員	人間活動に伴う海洋への窒素と鉄の排出が引き起こす地球規模の海洋環境の変化 – 地球温暖化の影響を相殺 / 増幅していることが明らかに –
7.5	中央大学	脇谷 量子 特任研究員	放流ウナギは天然ウナギに勝てるのか? – 養殖場の飼育を通じて、ウナギの種内競争の能力は低下する –

発表日	主導機関	所内発表者	タイトル
7.15	海洋研究開発機構	渡部 雅浩 教授	北極海水の減少を説明する新たなメカニズムを提唱 —メキシコ湾流の温暖化による遠隔効果—
7.20	東京大学	松崎 賢史 助教	約 750 万年前の地球寒冷化に伴う日本海の海洋循環と化石生物の絶滅
8.8	東京大学	朴 進午 准教授	日本海溝の浅部プレート境界断層に沿った間隙水圧の異常 —2011 年東北沖地震の巨大津波を引き起こしたか—
8.9	東京大学	高木 互 助教 / 兵藤 晋 教授	アカエイの淡水進出を可能にする腎機能の解明 —なぜエイ類にはサメ類よりも汽水域や淡水域に生息する種が多いのか?—
8.23	東京大学	川口 悠介 助教	北極海の海水減少の真相に迫る! —北極点、海水直下の熱の動きを徹底的に調査—
8.29	東北大学	佐野有司 名誉教授 / 高畑 直人 助教	約 19 億年前の地層から未報告の微生物化石を発見 ~初期原生代の特異な地質環境が原核生物の多様な進化を促した~
9.8	東京大学	伊藤 進一 教授 / 兵藤 晋 教授	海水に含まれる DNA から外洋の小型浮魚類の分布を探る
9.27	東京大学	塩崎 拓平 准教授 / 原田 尚美 教授	北極海の植物プランクトンの新たな大増殖現象を発見 —温暖化によって北極全体で起こる現象に
10.11	東京大学 国際ミュオグラフィ連携研究機構	—	世界初、ミュオグラフィによる台風の観測
10.12	東京大学	伊藤 進一 教授 / 白井 厚太郎 准教授	マアジの発育に伴う深い生息層への移行 —耳石に刻まれた化学成分の変化から—
10.16	東京大学	坂本 達也 海洋科学特定共同研究員 / 小松 幸生 兼務准教授 / 白井 厚太郎 准教授 / 樋口 富彦 特任研究員	大洋の東西で異なるマイワシの環境応答 —耳石が示すグローバル生存戦略の鍵—
10.20	国立極地研究所	阿部 彩子 教授	過去 30 年にわたる観測データから 南極ドームふじ地域の詳細な基盤地形を解明 ~100 万年超のアイスコア掘削に向けて~
11.29	国立極地研究所	阿部 彩子 教授	地域的な海水準上昇が氷床融解を促進していた可能性を提唱 —9 ~ 5 千年前に発生した東南極氷床大規模融解に新メカニズム—
12.13	国立極地研究所	阿部 彩子 教授	南極ドームふじのアイスコア掘削地点を決定 ~100 万年を超える最古級のアイスコア採取に向け、観測拠点建設に着手~
12.23	三重大学	西川 はつみ 特任研究員	豪雪をもたらす線状の降雪帯、JPCZ の構造とメカニズムを日本海洋上観測により明らかにした

英文

発表日	主導機関	所内発表者	タイトル
7.4	東京大学	横山 祐典 教授 ほか	Defining the Anthropocene Radioactive traces in ocean materials mark the start of the modern age